

登録コード	A3590394	開講年度	2026					
授業科目	科学英語Ⅱ				担当教員	近藤 文哉		
英文授業名	Scientific English Ⅱ							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関連する英語表現・用語を理解し、学術論文を読めるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関連する英語表現・用語を理解し、世界的な研究動向、最新技術に関する情報収集を可能にする。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関連する英語表現・用語を理解し、学術論文を読めるようになる。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関連する英語表現・用語を理解し、世界的な研究動向、最新技術に関する情報収集を可能にする。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学に関連する英語学術論文を学生自身で選び、読み進め、当該分野における英語表現・用語を理解する。							
(5)授業計画	本授業は不定期のため、各授業回の内容を指定しないが、以下の演習を行う予定である。 ・英語学術論文の検索・選び方 ・英語論文の和訳 ・科学英語を用いたライティング ・科学英語に基づいたプレゼンテーション							
(6)自主学習の指針	本授業以外でも積極的に学術論文を読んだり、留学生との英語によるコミュニケーションしたりすることで、英語力の向上に努めてください。							
(7)成績評価の基準	日々の授業への参加姿勢とともに、授業における英文和訳、英語によるライティング・プレゼンテーションの完成度に基づいて評価します。							
(8)事前事後学習の内容	自主学習の指針の通りです。							
(9)テストやレポートの予定	適宜指定します。							
(10)成績評価の方法	以下の基準に基づいて評価します。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある							
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室（C412）で対応します。不在の場合はfkondo@shinshu-u.ac.jpにメールしてください。							
(12)履修上の注意								
【教科書】	適宜指定します。							
【参考書】	適宜指定します。							